

不動産鑑定業界と不動産市場の動向に関する定期調査(2024年1月現在)

整理番号	団体名	国名	設問 不動産鑑定業界の貴団体の最近の活動に関するご意見をお書きください。
			回答
1	JAREA (日本不動産鑑定士協会連合会)	日本	<p>1. 『JAREA-DX ビジョン』の策定 データとデジタル技術を活用して、会員企業やその顧客さらには社会のニーズを基に、会員におけるビジネスモデルの変革に資するべく、連合会が会員に対して提供している各種サービスを変革するとともに、連合会の業務そのものや、組織、プロセス、文化・風土を変革し、連合会の存続と鑑定業界の持続的発展を確立することを目的として、『JAREA-DX ビジョン』を策定し、事業として取り組みを開始した。</p> <p>2. 不動産鑑定評価基準の英訳の公開 2023年12月に不動産鑑定評価基準の英訳を国内及び国外向けにHP上において公開した。</p> <p>3. 被災地支援活動 現在、令和6年能登半島地震に係る被災地へ不動産鑑定士を派遣し、住家被害認定調査の支援に取り組んでいる。</p>
2	PARA (フィリピン鑑定協会)	Philippines	<p>2024年2月24日、PARA創立35周年を記念して、2024年度の新役員の就任式が行われた。同時に、マカティ市のDusit Thani Hotelで2024年第1回総会が開催された。また、税務評価のための画期的な法案として、不動産評価および評価改革法案(RPVAR法案)が議会の両院で可決され、両院の意見の相違を調整した。この法案は現在、適切な措置を行うために大統領府に送付される過程にある。</p>